

秋の自然観察会

～秋を彩るものがたり～

【日 時】

平成 30 年 9 月 22 日(土)午前 9 時 30 分～午後 3 時

【行 程】

博物館(展示解説)→天覧入り谷津田→見返り坂→博物館(昼食)→「奥武蔵の植生と特色ある植物」講義

【講 師】

山下裕氏(日本薬科大学特命講師)

【参加者数】

22 名

【内 容】

前日の天気予報により、急遽午前観察会、午後講義に変更しての開催となりました。当日は少し晴れ間も見え、たくさんの草花と出会うことができました。観察会の様子をご紹介したいと思います。



開会のあいさつの後、自然担当職員から本日のコースの説明と、秋に見られる植物のお話をしました。身近な自然コーナーで、どこに注目して観察するかの予習をしていきます。入口のイラストマップで最新の季節情報をチェックすれば、あとからでもご自分で探して歩くことができます！とお伝えしました。



いよいよ観察会の始まりです。春の自然観察会でもご教授いただいた山下先生から、三大薬草など、植物に関わる文化や利用法などの話を聞きながら、谷津田まで観察をしました。「蓼食う虫も好きずきのタデはどれでしょう？」
「ゲンノショウコを漢字で書くと…」

手持ちのボードを活用し、大きな写真や、葉を一枚とって見せながら、参加者の興味を引く解説をしてくださいました。



午後は、スライドを用いて「奥武蔵の植生と特色ある植物」の講義をしていただきました。日本の植生から、身近な地域へとつなげながら、天覧山・多峯主山でもよく見られる植生や特徴的な植物についてお話していただき、なんともよくばりな自然観察会となりました。